

株式会社ピーシー・ブレイン 047-311-6677

☆今月のメニュー

□活用講座

SEO 対策の基本とおさらい

検索エンジンスパムとは

SEO 対策について学んでゆくと、「検索エンジンスパム」という行為を見聞きすることができます。

スパムとは、SEO のテクニックを悪用し、検索結果の上位表示させることだけを目的にした手法で、検索結果の精度を低下させてしまいます。

このため、検索エンジン側でスパムに対しては非常に厳しくチェック&罰則を適用していきますので、気づかないうちにやっていたということのないように十分に注意してください。

スパムと判断される基準は一樣ではなく変化してゆきますが、代表的なものは次の通りです。

スパムの例

- ・ 検索エンジン用のページを作る
- ・ (人が見るページとは別に、検索エンジン向けのページを作成してキーワードを羅列する等)
- ・ 隠し文字、透明文字を使う
- ・ 小さなフォントを埋め込む
- ・ 非表示のタグにキーワードを埋め込む
- ・ 見えないエリアにキーワードを配置する

こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。

遅ればせながら私の手元にも iPad がやってきました。周りには手にしている人が既に何人にもいたため、印象などは聞いていたのですが、自分専用というのはやはり良いものです。使い始める前は大きな iPhone というイメージがあったのですが、いまでは PC を置き換えるような存在です。

さて、ホームページの活用方法を中心とした「WEB マーケティングのヒント」というタイトルで、今月もお役に立つ情報をお届けいたします。

SEO 対策の「最適化」とは・・・

SEO とは日本語では「検索エンジン最適化」となりますが、この最適化が意味するものが何であるのかをご存じでしょうか？

実は Google が示唆している解釈があります。

それは

『「最適化」の意味するところは、「サイトを訪れるユーザーのために行われるべきものである』というものです。

SEO 対策では、このような検索エンジン側の考えを理解した上で実施することが効果をあげるための近道です。その上でテクニックやサービスを利用するようにしましょう

SEO 対策でできること・できないこと

▼SEO 対策で得られるメリット

SEO 対策でできることは、主に以下の様なことがあります。

・検索エンジンからの高い集客力を得られる

インターネット上でもっとも高い集客力を誇るホームページは検索エンジンです。この検索エンジンの結果の上位に表示されるほどアクセスしてもらえる可能性が高まります。検索結果1位のクリックされる割合は50%を超えています。ただ検索結果の7位以降になると極端にアクセスが減るという調査結果もあります。

・見込み度の高い見込み客を集客

できる

検索エンジンからの訪問者は、商品、サービスに関連する特定のキーワードに反応している人たちで、目的を持ってホームページを見に来るため、広告宣伝など他の方法に比べてコンバージョン率が高いという特徴があります

・広告の効果がアップする

SEO 対策と広告のどちらが良いですか？という質問を受けることがあります。答えは両方です。この2つを利用することによる相乗効果で、単独の対応に比べると効果がアップします

▼SEO 対策ではできないこと

逆に SEO 対策ではできないこと、苦

手なこともあります。

もっとも大きな欠点は、効果が出るまでに時間がかかるということです。早くても2週間程度から、3ヶ月、6ヶ月といった時間を要します。これは検索エンジン側が最新情報を収集して更新するまでに時間がかかるためやむを得ないことと理解しておく必要があります。

また、SEO 対策はあくまでもアクセスを集めるための手段の一つです。ページそのものの反応率や成約率などを改善するものではありませんので、もしあなたのホームページの課題が反応率の低さにあるのであれば、SEO 対策の前に見直しておきましょう。

検索エンジンの考えていること

SEO 対策においては、検索エンジン側の考えを知っておくことが欠かせません。

▼検索エンジンのミッション

検索エンジンは、利用者にとって適切な検索結果を返答するというミッションを持っています。

無意味な検索結果や操作された検索結果を出力する検索エンジンに価値を感じる利用者はいません。適切な検索結果を如何に探し出すかということに、日夜研究・努力・試行を行っているのです。

ですので、SEO 対策を行う際には、検索エンジンが目指している状態に沿っている必要があります。

▼検索エンジンの評価方式

検索エンジンの評価ロジックについては、一般に公開されることはありません。ただ、検索エンジンからはホームページ、コンテンツを作成する上での参考資料・指針として、ガイドラインが提示されています。

■参考情報(ガイドライン等)

・Yahoo!検索コンテンツ品質ガイドライン
http://info.search.yahoo.co.jp/archives/002838.php

・ウェブマスター向けガイドライン(Google)
http://www.google.com/support/webmasters/bin/answer.py?hl=jp&answer=35769

・Google 検索エンジン最適化スターターガイド
http://www.google.co.jp/intl/ja/webmasters/docs/search-engine-optimization-starter-guide-ja.pdf

以降では、Google が提供しているガイドに基づいて、いくつかの具体的な SEO 対策についていくつか説明します。



株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

電話番号

047-311-6677

Fax

047-311-6678

E-mail

info@pcbrain.co.jp

営業時間:

9:00～17:30

地域で一番ネットを使った商売に
詳しいコンサルティング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リニューアル
- WEB システム開発



当社 Web サイト

URL:
<http://www.pcbrain.co.jp>
<http://www.webquick.jp>



対策1: 独自で、適切なページタイトルをつける

もっとも基本的かつ重要な要素ですが、本文に表示されないで、おろそかになりがちです。ここでは注意すべき点を挙げます

▼タイトル設定時の注意点

・内容に無関係なタイトルは付けない。キーワードにこだわる余り、ページ内容とは関連のないタイトルをつけてしまうケースも見受けられますが、これでは評価されません。

・ホームページ編集ソフトが、自動で付与する「無題」や「ページ 1」のようなタイトルをそのまま使っているケースもありますが、これでは検索エンジン側は評価しません
・それぞれのページにはそれぞれ固有のタイトルが付いていることが理想的です。ページの内容を検索エンジンがより良く理解する手助けとなります。
・サイトの大部分のページ、あるいは

はすべてのページに同じタイトルを使わない。もしこのような構成になっていると、検索エンジンの評価は著しく低くなってしまいます。
・短くてもページの内容がしっかり伝わるタイトルを付けるように心がけましょう。タイトルが長すぎると、検索結果にはその一部しか表示されません。
・ユーザーのためにならない、極端に長いタイトルは使わない

対策2: 質の高いコンテンツとサービスを提供する

このポイントは一見すると検索エンジン対策とは無関係に思えるかも知れませんが、極めて重要です。検索エンジンは利用者の利便性を常に意識しています。

Google のガイドラインでは、ユーザーによって良いと判断されたコンテンツは、自然発生的に多くの人に紹介されるはずであり、その過程で掲示板やブログ、SNSなどにクチコミのように書き込まれてゆくであろうと説明しています。

このことは、紹介やクチコミの結果として、ホームページへのリンク(被リンク)が発生する状況を想定している訳で、外部からのリンクが評価要素になっていることも意味しています。一方で、単にリンク数を増やせば良いということではなく、自然発生的であるということがポイントであることもガイドラインからも読み取れます。

▼コンテンツ作成時の注意点

・様々な内容に関する大量の文章を 1 ページにまとめてしまわない。

できれば 1 ページ 1 テーマが望ましいのです。

・関連性のある言葉を使う
利用者が入力する可能性のあるキーワードを意識してください。検索行動における多様性を想定しながらコンテンツを作成すると、良い結果が得られる、と Google 自身も説明しています。
・ホームページ内でコンテンツの重複、重複に近いバージョンを作らないようにしてください。重複ページはペナルティの対象になる可能性がとて高く注意してください。

対策3: 正しい方法でサイトを宣伝する

ここでのポイントは、ホームページの告知の方法や手段ということではなく、不自然ではない形で宣伝するのかという点です。

悪意があるかどうかの判断としては、ガイドライン中の以下の説明が参考になります。

「正しい方法でサイトを宣伝する 被リンク (他のサイトから張られるリンク) は、通常ゆっくりと少しずつ増えていきます。なぜならユーザーは検索などを通じてあなたのコンテンツを見つけ、そしてリンクを張っていくからです。」

▼適切なサイトの宣伝方法

ガイドラインのうち、SEO に関連した項目は次のようなものです。

・新しいコンテンツやサービスについてのブログを書く
・ソーシャルメディアサービスを正しく理解活用する (mixi や SNS や Twitter などの活用)。ソーシャルメディアも検索対象になっています。
・Google プレイスや、Yahoo! 地域情報など、地域情報に連動した情報を登録する (店舗などでは、検索結果に地図と連動して表示されることがあり、登録の有無によって表示が異なります)
・関連するコミュニティに参加する。ただし、参加するだけでなく発言、情報発信することが必要です。

▼サイト宣伝時の注意事項

SEO に関連して注意しておきたい内容について以下に揚げます。

・自分のコンテンツが上位に表示されるように人為的な操作を加えるプログラムに参加しない
・関連するトピックを扱うサイトへ、自分のサイトへリンクしてくれるように手当たりしだいに依頼しない
・PageRank を上げることを目的として、他のサイトからリンクを購入しない

なお、中小の検索エンジンへの一括登録については現状ではグレーです。というのも、ページ自体が頻繁に更新されるため、被リンクとしての効果は一時的 (せいぜい 1 週間程度) でしかないため、中期的には SEO への影響がないのです。

ニュースレターを読んだ感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい!
→ FAX: 047-311-6678 / 電子メール: info@pcbrain.co.jp

株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者: 高山卓巳
〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-2-6 勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp

